



白杵市のみずほ厚生センター



問題を解く利用者

利用者が生き生きしてくる姿が何よりの励みだという。「脳の健康教室」は「学習療法センター」が大学教授と共同開発した独自の認知症予防プログラム。続けて行うことで、認知機能やコミュニケーション能力をもつと広めたいです」と話していた。

利用者はおおむね65歳以上で、自力の通学が可能な人。1クールが6ヶ月になつており、修了すると証書が発行される。費用は1ヶ月3千円。

## 施設データ

### 社会福祉法人 みずほ厚生センター

住所 〒875-0023 大分県臼杵市大字江無田1119番地の5

TEL (0972)64-0177

理事長 大塚恭弘

運営施設(事業所)  
特別養護老人ホーム四季の郷、障害児入所施設みずほ学園、  
障害者支援施設 聖心園、グループホームあつとほーむ風車、  
無料・低額宿泊事業 ときわ荘 など

# 楽しく認知症の予防 脳の健康教室

認知症の予防効果が注目される学習療法を地域に広めようと、臼杵市のみずほ厚生センターが「脳の健康教室」に取り組んでいる。週1回開かれる教室に近隣の住民が参加し、仲間との会話を楽しむ笑顔が広がる。

四季の郷「輝」デイサー るある日の教室をのぞく ビスセンターで開かれないと、脳の活性化を促すため に編集された教材を中心して解く利用者を、教室サポーターが見守つていた。

原則として週に1回、利 用者2人につき学習を支援

する教室サポーターが1人付き添い、コミュニケーションを取りながら進める。読み書き・計算を中心とした30分ほどの学習はあつとう間に過ぎていく。

勉強の後はお茶を飲みながら談笑タイム。開校から80代の女性は「お友達ができて楽しいです」とほほ笑む。「宿題もあるから通う」というがでかけた。利用者が見られたため、「住民も利用できるような教室にして、地域貢献につなげたい」という思いで11年から一般

向きに「脳の健康教室」を開講。県内で学習療法に取り組む施設などでつくる大分学習療法研究会にも参考画し、研鑽を続けている。

## 夢中で教材を解く

みずほ厚生センターは2008年から学習療法に取り組んできた。法人内の施設で実施したところ効果が図る効果が実証されている。

